

〈たまねぎ〉 アザミウマ類

1. ベネビアODを使用する場合、展着剤加用にあたっては事前にその適否を確認する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アドマイヤー顆粒水和剤	I:4A	収穫14日前まで	2回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
トクチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	4回以内	散布
パダンSG水溶剤	I:14/F:U19(U)	収穫前日まで	3回以内	散布
ファインセーブフロアブル	I:34	収穫3日前まで	3回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
モスピラン顆粒水溶剤	I:4A	収穫7日前まで	3回以内	散布
ダブルシューターSE ※1	I:5・-	収穫3日前まで	3回以内	散布
グレーシア乳剤 ※2	I:30	収穫7日前まで	2回以内	散布

※1 上位作物群「鱗茎類(にら、にら(花茎)を除く)」の登録薬剤

※2 上位作物群「鱗茎類(根物、ただし、にんにく、らっきょうを除く)」の登録薬剤

〈たまねぎ〉 ネギアザミウマ

1. ネギアザミウマは、えそ条斑病の病原ウイルス (IYSV) を媒介する。

2. 高温、乾燥のとき多発する。

3. 野菜類のアザミウマ類の項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カスケード乳剤	I:15	収穫3日前まで	3回以内	散布
コルト顆粒水和剤	I:9B	収穫前日まで	3回以内	散布
リーフガード顆粒水和剤	I:14	収穫3日前まで	3回以内	散布

〈たまねぎ〉 アブラムシ類

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スミチオン乳剤	I:1B	収穫21日前まで	2回以内	散布
ダイアジノン乳剤40	I:1B	収穫21日前まで	2回以内	散布

〈たまねぎ〉 コガネムシ類幼虫

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ダイアジノン粒剤5	I:1B	収穫30日前まで	2回以内	作付前:全面土壌混和 又は作条土壌混和、作物生育中:作条処理して軽く覆土

〈たまねぎ〉 ハモグリハエ類

1. ベネビアODを使用する場合、展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤は加用しない。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
パダンSG水溶剤	I:14/F:U19(U)	収穫前日まで	3回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布

〈たまねぎ〉 ネギハモグリハエ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カスケード乳剤	I:15	収穫3日前まで	3回以内	散布
コルト顆粒水和剤	I:9B	収穫前日まで	3回以内	散布
ダイアジノン乳剤40	I:1B	収穫21日前まで	2回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
リーフガード顆粒水和剤	I:14	収穫3日前まで	3回以内	散布

〈たまねぎ〉 タネハエ

1. 有機質肥料や未熟堆肥を施すと多発する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ダイアジノン粒剤5	I:1B	は種時又は定植時	2回以内	作付前:全面土壌混和 又は作条土壌混和、作物生育中:作条処理して軽く覆土

〈たまねぎ〉 ハスモンヨトウ

1. ベネビアODを使用する場合、展着剤加用にあたっては事前にその適否を確認する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アニキ乳剤	I:6	収穫前日まで	3回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布

〈たまねぎ〉 シロイチモジヨトウ

1. 幼虫の齢期が進むと殺虫効果が落ちる。

2. 野菜類のシロイチモジヨトウの項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アグロスリン乳剤	I:3A	収穫7日前まで	5回以内	散布
アニキ乳剤	I:6	収穫前日まで	3回以内	散布
プレオフロアブル	I:UN	収穫3日前まで	2回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布

〈たまねぎ〉 疫病

1. 低湿地での栽培を避ける。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
クロールピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸

<たまねぎ> 黒腐菌核病

1. 発病ほ場は、連作を避ける。
2. 被害株は、ほ場に残さないように処分する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
セイビアーフロアブル20 キルパー	F:12(E2) I:8F	定植直前 は種又は定植の10日前まで	1回 1回	5分間苗根部浸漬 所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
フロンサイド粉剤 ガスタード微粒剤	F:29(C5) I:8F	定植前 は種又は定植21日前まで	1回 1回	全面土壤混和 本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する
ディ・トラペックス油剤	I:8A・I:8F	は種又は植付の14日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。

<たまねぎ> 黒斑病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
ベンコゼブ水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
ロブラール水和剤	F:2(E3)	収穫7日前まで	3回以内	散布

<たまねぎ> さび病

1. 窒素肥料の過施用を避ける。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
カリグリーン ※1	F:NC	収穫前日まで	-	散布

※1 上位作物群「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

<たまねぎ> 白色疫病

1. 低湿地に発病が多いので、排水をはかる。
2. 同一成分を含む異なる商品名の薬剤では総使用回数に注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ジャストフィットフロアブル	F:40(H5)・F:43(B5)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ドイツボルドーA	F:M01(M)	-	-	散布
プロポーズ顆粒水和剤	F:40(H5)・F:M05(M)	収穫7日前まで	3回以内	散布
フロンサイドSC	F:29(C5)	収穫3日前まで	5回以内	散布
ホライズンドライフロアブル	F:11(C3) F:27(U)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ボルドー	F:M01(M)	-	-	散布
リドミルゴールドMZ	I:UN/F:M03(M)・F:4(A1)	収穫7日前まで	3回以内	散布

<たまねぎ> 苗立枯病

1. 総使用回数が1回の薬剤は、苗床で使用する場合は、本ほ場では使用しない。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
オーソサイド水和剤80 ガスタード微粒剤	F:M04(M) I:8F	収穫前日まで は種又は定植21日前まで	5回以内 1回	散布 本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する

<たまねぎ> 軟腐病

1. 軟腐病は5～6月に発生が多い。
2. 風雨によりまん延するので、天候に注意して薬剤を散布する。
3. 被害株は、ほ場に残さないように処分する。
4. 同一成分を含む異なる商品名の薬剤では総使用回数に注意する。
5. 銅水和剤はクレフノン200倍を加用すれば、薬害が軽減される。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アグリマイシン-100	F:25(D4)・F:41(D5)	収穫7日前まで	5回以内	散布
アグレプト水和剤	F:25(D4)	収穫7日前まで	5回以内	散布
カスミンボルドー	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	5回以内	散布
カップパーシン水和剤	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	5回以内	散布
カセット水和剤	F:24(D3)・F:31(A4)	収穫7日前まで	5回以内	散布
キノドー水和剤40	F:M01(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
スターナ水和剤	F:31(A4)	収穫7日前まで	5回以内	散布
ICボルドー66D ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布

クプロシールド ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
コサイド3000 ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ドイツボルドーA ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ボルドー ※1	F:M01(M)	-	-	散布
Zボルドー ※2	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
マスタピース水和剤 ※3	F:NC	収穫前日まで	-	散布
ジーファイン水和剤 ※4	F:NC・F:M01(M)	収穫前日まで	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類(キャベツを除く)」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(だいこん、はくさい、ブロッコリー、キャベツ、レタス、非結球レタス、かぼちゃ、ズッキーニ、しょうが、トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

※4 上位作物群「野菜類(なすを除く)」の登録薬剤

<たまねぎ> 灰色かび病

1. 灰色かび病の病原菌はボトリチス葉枯症状の原因となる菌の一種である。
2. FRACによる作用機構コードを確認し、同一コードの薬剤の連用を避ける。
3. アフェットフロアブルとカンタスドライフロアブルはそれぞれ同一薬剤として扱い連用しない（抵抗性回避）（1作期3回以内）。
4. 同一成分を含む異なる商品名の薬剤では総使用回数に注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフェットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	4回以内	散布
カンタスドライフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫7日前まで	6回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫前日まで	5回以内	散布
ペンコゼブ水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
メジャーフロアブル	F:11(C3)	収穫前日まで	3回以内	散布
ロブラール水和剤	F:2(E3)	収穫7日前まで	3回以内	散布

<たまねぎ> 灰色腐敗病

1. 被害株はほ場に残さないように処分する。
2. FRACによる作用機構コードを確認し、同一コードの薬剤の連用を避ける。
3. アフェットフロアブルとカンタスドライフロアブルはそれぞれ同一薬剤として扱い連用しない（抵抗性回避）

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフェットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	4回以内	散布
オンリーワンフロアブル	F:3(G1)	収穫前日まで	3回以内	散布
カンタスドライフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
ゲッター水和剤	F:1(B1)・F:10(B2)	収穫7日前まで	5回以内	散布
ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
セイビアーフロアブル20	F:12(E2)	収穫前日まで	3回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫前日まで	5回以内	散布
ロブラール水和剤	F:2(E3)	収穫7日前まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	定植直前	6回以内(但し、定植後は5回以内)	5分間苗根部浸漬

<たまねぎ> 腐敗病

1. 腐敗病は秋と2～4月に、発生が多い。
2. 風雨によりまん延するので、天候に注意して薬剤を散布する。
3. 被害株は、ほ場に残さないように処分する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫3日前まで	5回以内	散布

<たまねぎ> べと病

1. 早春から高温、多雨の年に発生が多いので、予防的に散布する。
2. 1～3月頃に葉が横に広がり、やや黄色を呈した株（感染株）を取り除く。
3. 同一成分を含む異なる商品名の薬剤では総使用回数に注意する。
4. 銅水和剤はクレフノン200倍を加用すれば、薬害が軽減される。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
ジャストフィットフロアブル	F:40(H5)・F:43(B5)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫7日前まで	6回以内	散布
プロポーズ顆粒水和剤	F:40(H5)・F:M05(M)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ペンコゼブ水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫3日前まで	5回以内	散布
ランマンフロアブル	F:21(C4)	収穫7日前まで	4回以内	散布
リドミルゴールドMZ	I:UN/F:M03(M)・F:4(A1)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ガスタード微粒剤	I:8F	は種14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。
バスアミド微粒剤	I:8F	は種14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。
クプロシールド ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
ドイツボルドーA ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ボルドー ※1	F:M01(M)	-	-	散布

Zボルドー ※2	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤				
※2 上位作物群「野菜類(キャベツを除く)」の登録薬剤				